



のびるほとっ子!

もっと ほっと ずっと

令和4年4月7日

横浜市立保土ヶ谷小学校

新年度スタート ～不安を安心に～

学校長 小川 克之

令和4年度が始まりました。今年度は56名の新入生を迎えてのスタートです。進級した子どもたちの元気な姿が学校に戻り、新しい出会いが待っています。今年度もよろしく願いいたします。

新年度が始まり、新しい学年、新しいクラス、教室や担任の先生も変わりました。3月までの生活や環境も一変し、保護者の皆様にとっては期待もしつつ不安や心配もおありかと思えます。特に新学期は「友だちと仲良く生活できるか」「勉強もがんばっていけるか」と、お子様を送り出してから、帰ってくるまで落ち着かないこともあるかもしれません。もちろん、子どもたちもドキドキの新学期の日々を過ごしていることでしょう。

お子様が帰ったとき、「今日こんなことがあったよ」「友だちと楽しく遊んだよ」等、いろいろ話しかけてくると思いますが、ぜひ耳を傾けてお話を聞いてあげてください。その時、「そうだったんだね」、「よくがんばったね」「えらいねえ」、そんな言葉をかけてあげてください。その後「今度はこうしたらいいよ」「こうしたらもっとよくなるよ」と明日につながる肯定的な声かけをしながら、そっと背中を押してあげてください。保護者の方のそのような声かけが、子どもの自己肯定感を育むことにつながります。

むしろ「今日、嫌なことがあったの?」などという声かけは、子どもにとってマイナスな気持ちを大きくしてしまい、学校に来てもうまくいかないことばかり気になり、毎日の生活が“あさがし”になってしまいます。

子どもたちは、日々成長しています。友人関係も、すぐに仲良しになったり、時間をかけて仲良しになったり、時には仲たがいをしながらもだんだんとお互いのよさを認め合いながら仲良しになったりするなどいろいろなパターンがあります。特に1年生の子どもたちは、入学当初は、同じ保育園や幼稚園、近所のお友だちと遊ぶことが多いかもしれませんが、徐々にクラス全員と仲良くなっていきます。そして、いろいろなことができるように、わかるようになり、グングン成長していきます。

ぜひ子どもたちの成長を見守っていただきながら、ポジティブな声かけで不安や心配を取り除き、安心な学校生活を送ることができるようご協力をお願いいたします。

今年度は、創立150周年の記念の年となります。小学校生活が子どもたちにとって、楽しく、成長の喜びにあふれたものになるように教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※昨年度はコロナの影響で、学校行事や児童の活動が中止や延期になったり、内容が変更したりすることもありました。1日も早く終息してほしいと願っておりますが、今年度も状況次第では、行事や活動が計画通り実施できないことも考えられます。ご承知おきいただきたく存じます。